

## Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

### こども医療費助成事業（予算額：約5億6826万円）

こどもたちが元気で丈夫に育つことを願って、保護者が病院で支払う医療費の一部を沖縄市が助成するものです。

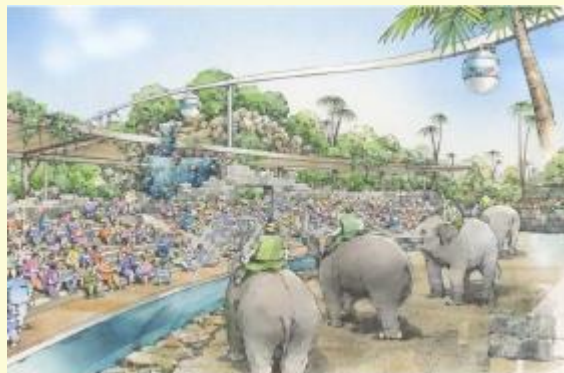
入院費の助成は、0歳から中学校卒業までとなっております。

通院費の助成については、平成30年10月診療分より現行の0歳から「小学校3年生」から「小学校6年生」まで対象を拡充するとともに、未就学児への現物給付を実施します。



### 沖縄こどもの国整備事業（予算額：約8億9020万円）

沖縄県内で唯一の本格的な動物園である「沖縄こどもの国」の区域を広げ、動物に関することや自然科学など、色々なことを楽しみながら学ぶことができるよう整備することで、県外や国外からも多くの観光客を誘客できるような、日本一ユニークな施設にしていきます。



## Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

### 認可外保育施設認可化移行支援事業

(予算額：約9545万円)

待機児童（認可保育所に入所できない子どもたち）の解消に向けた取り組みとして、認可保育所への移行を目指す認可外保育施設に対し、運営費や施設整備の補助を行うことで、速やかに認可保育所へ移行できるよう支援を行っています。



### 私立保育所施設整備事業（予算額：約10億9848万円）

待機児童（認可保育所に入所できない子どもたち）の解消に向けて、私立保育所（認可保育所）の定員増を伴う建替えや、分園設置等の施設整備にかかる費用の一部を補助することにより、私立保育所の整備・促進を図っています。



## Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

### 地域型保育事業（予算額：約1億227万円）

0歳児から2歳児までのお子さんを少人数（6人～19人）で預かる施設で、家庭的な保育に近い雰囲気のもとで、きめ細やかな保育を行うことができる小規模保育事業所等の整備促進を図っています。



### 待機児童対策特別事業（予算額：約9564万円）

認可外保育施設を利用している子どもに対する給食費や健康診断に要する費用を補助することで、保育環境の向上を図るとともに、利用料の一部を補助することで保護者の経済的負担の軽減を図っています。

また、待機児童対策として保育士試験の対策講座を開設し、新規保育士の確保にもつなげています。



## Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

### 保育体制強化事業（予算額：約7368万円）

保育士を正規雇用することで保育士の処遇改善を図っている保育事業者や保育補助者等の配置による保育士の業務負担の軽減を図る事業者等に対して補助を行っています。

保育士の働きやすい環境を整備するための支援を行うことで、保育士の確保につなげていきます。



### 児童館等整備事業（予算額：約1億4882万円）

児童館は、児童福祉法に基づく児童厚生施設で、児童の遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、こどもを心身ともに健やかに育成することを目的とした施設です。

今後、1中学校区ごとに児童館機能を備えた施設の設置を目指します。



## Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

### 美東小学校校舎新增改築事業

(予算額：約11億6326万円)

美東小学校の校舎は昭和38年から使われてきましたが、校舎が狭く、多くの建物が古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所になっていることから、こどもたち、市民のみなさんの安全を確保するためにも建て替えることになりました。

平成32年4月から新しい学校でのスタートを予定しています。



### 美東中学校校舎新增改築事業

(予算額：約14億4772万円)

美東中学校の校舎は昭和52年から使われてきましたが、校舎が狭く、多くの建物が古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所になっていることから、こどもたち、市民のみなさんの安全を確保するためにも建て替えられることになりました。

平成31年4月から新しい学校でのスタートを予定しています。



## Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

### 学力向上推進事業（予算額：約1億1056万円）

「夢や希望の実現に向かって歩み続ける幼児児童生徒の育成」をテーマに、わかる授業の充実をめざして指導方法の改善に取り組み、確かな学力の定着と教職員の指導力向上を支援する事業です。

主に、各種支援員の配置や学力調査の実施、英検等検定料の補助を行っています。



### 情報教育推進事業（予算額：約4億1040万円）

市内小・中学校24校の全普通教室や理科室などへ液晶型電子黒板を整備します。

様々な機能を持つ電子黒板を活用することにより、学習内容をわかりやすく説明し、興味関心を高めることで、「わかる授業」「参加する授業」を実施し、学力や情報活用能力の向上を図ります。

